



北海道山岳連盟
令和5年度 第2回理事会

議 案 書

令和6年4月21日

議事次第

開会

※会議成立要件(規約第 27 条)：定足数 39 名中 1/3 以上(13 名)

会長挨拶

議事

※慣例により議長は会長が務めます。

第 1 号議案	令和 5 年度を振り返って
第 2 号議案	令和 5 年度事業報告
第 3 号議案	令和 5 年度収支決算報告
第 4 号議案	規程改正について
第 5 号議案	令和 6 年度に向けて
第 6 号議案	令和 6 年度活動方針および事業計画(案)
第 7 号議案	令和 6 年度事業予算(案)
第 8 号議案	備品台帳
第 9 号議案	入会、退会申請
第 10 号議案	役員改選
第 11 号議案	各種議題、その他

第 1 号議案 令和 5 年度を振り返って

新型コロナウイルス感染症が 5 月 8 日から 5 類感染症に移行され社会生活がほぼ平常に戻りましたが、まだまだ油断は出来ません。また母体である JMSCA (ジムスカ) は財政危機に直面しています。詳細は後述します。新執行部も 2 年目に入り道岳連事業を推し進め、総会、理事会を集合 (Zoom 併用) 開催しました。加えて全道交流登山会が旭川山岳会、美瑛山岳会主催で実施され、多くの岳人が集い交流を深めました。両会に感謝申し上げます。「山の日」にはジュニア委員会が中心になり、旭岳にて親子登山会を開催しました。各委員会事業も天候不順によるものや参加者が少なく中止もありましたが、ほぼ順調に消化しました。また、北海道アウトドアフェスバルのトレイルランニング大会に協力しました。このほか、試みとして道岳連カレンダーを製作し、加盟団体にアピールをしました。今後は道岳連財政寄与に向けて協力をお願いします。

1. 日本山岳・スポーツライミング協会 (JMSCA) 全国理事長会議報告

- ・日時：令和 6 年 2 月 10 日 (土)
- ・時間：午前 10 時～16 時 30 分
- ・ハイブリッド開催 Zoom 併用 (JSOSビル 3F 第一会議室)
- ・出席者；JMSCA 理事 18 名、各委員長 1 名、監事 3 名

各岳連理事長（対面）6名、（Web）36名

(1) 令和4年度赤字検証報告について

赤字決算検証委員会 6名

令和4年度赤字総額 95,656,797円

委員会別赤字額の内訳（単位千円）

登山部	▲11,463
指導	▲1,032
山岳スキー	▲11,830(補助金に対する甘い見通し)
SC部	▲78,222
競技	▲40,448(大会施設費等の稚拙な予算策定及び予算超過を予見も補正せずに実行等)
強化	▲25,631(JOC補助金申請に関する管理不全等)
国体	▲4,330
SC普及	▲2,905
マーケティング	▲4,159(予算外の旅費支出)
独立	▲7,137
アンチドーピング	▲1,495
ガバナンス	▲1,474
公益共通	▲4,159(予算外の旅費支出)

SC部競技委員会

大会施設関連（諸謝金・賃貸リース料含む）で▲40百万円

過小な予算設定に根本的問題。理事会への事業報告もないまま矢継ぎ早に大幅な赤字を承知の上で大会を実行した。

SC（スポーツ・クライミング）部強化委員会

事業支出の大幅な増加▲23百万円

JOC補助金申請に対する協会内部での管理および連携の不備でJOCからの補助金が大幅に削減（▲22百万円）されたが、支出の予算外増加（旅費▲27百万円等）にも問題がある。

登山部山岳スキー委員会

事業計画の提出漏れによる補助金の減額（4百万円）に加え大会施設費についても大幅超過（▲4百万円）

法人会計管理費

旅費交通費▲10百万円

予算外支出については規律違反と思われる。

a. 構造上の問題

a) 全体的（組織、環境）な問題

①公益社団法人における収支相償原則の無視

②予算管理・執行の規程・規律が守られていない

③監事初見による問題提起に対応していない

④事業経営の困難化（事業環境の悪化）

※スポンサー収入の減少・大会運営費用の増加等

b) ガバナンス上の問題

c) コンプライアンス上の問題

d) コミュニケーション（情報共有）の不足

b. まとめ

本件の問題は JMSCA 全組織における、ガバナンスの機能不全とコンプライアンス意識の欠如がその根本にあり、赤字をリスクと考えようとしない組織全体の責任と言っても過言ではなく構造上の問題である。

特に競技会における慢性的な赤字運営によって「赤字に慣れる」体質と化し JMSCA の経営に重大な結果をもたらしている。現状も今日まで昨年度と大きく変わらない事業運営を続けていることからすでに令和 5 年度決算においても大幅赤字が避けられない状況であることも付言する。いずれにしろ、会長を筆頭に運営統括担当の専務理事および常務理事会、理事会の責任は大きく重い。

(2) 第 60 回全日本登山大会 新潟大会

・期日：9/21（土）～9/23（月）

・会場：新潟県南魚沼郡湯沢町（苗場山、平標山、三国山、大峰山）

(3) 日本山岳・スポーツクライミング協会の令和 5 年度事業報告は諸事情により発表が遅れている。

2. 道岳連の行事に関すること

- ・ホームページを利用して周知、報告等を発信していますので利用をお願いします。
- ・HP のカレンダーへの写真データの投稿をお願いします。
- ・道岳連だよりは 99 号を発刊しホームページ、紙ベースの発信を行っていますが、各種行事等は HP で周知していることから、100 号をもって発刊を終了します。

3. 事業運営について

(1) アルパイン系レベルアップ

アルパイン系登山の意識高揚と技術力アップを目指し、石井会長、コーチ 2 資格者が中心となって各山岳会から登攀、沢登り、アイスクライミングの希望者 5 名程度を募って 1 年間上級レベルの活動を実施しています。赤岩での登攀、三峰山沢と電気沢、カミホロカメットク山氷雪、層雲峡、雷電海岸でアイスクライミング等、延べ 8 回開催しました。

(2) 一般登山者への啓発

一般登山者に道岳連加盟団体へ加入してもらい呼びかけを行うとともに、HP 等で各種事業を周知しています。今後とも引き続き個人会員を積極的に募集していきます。

第2号議案 令和5年度事業報告

1. 事務局

(1) 各種会議他

- ・総会：5/14（日） 会場 札幌エルプラザ4階 中会議室
- ・第1回理事会：10/15（日） 会場 札幌エルプラザ4階 中会議室
- ・常任理事会：5/25、7/27、9/28、12/7、1/25、3/28（原則隔月第4木曜日）Zoom併用
- ・加盟団体調査、加盟団体役員名簿、理事名簿、道岳連役員名簿の作成 配布：6月

(2) 道岳連行事

- ・北海道山岳団体交流会（白金野営場、十勝連峰）：8/26～27

(3) JMSCA会議

- ・指導委員長会議：6/3～4 東京都
- ・総会：6/18 Zoom開催 東京都
- ・全国自然保護会議：11/23 東京都 JSOSビル 3階会議室 Zoom併用
- ・新春懇談会：1/21 東京都
- ・全国理事長会議：2/11 東京都 JSOSビル 3階会議室 Zoom併用

2. 総務委員会

(1) 一般

- ①道岳連広報「道岳連だより」発行（年3回発行）NO.97：6/10、NO.98：10/26、NO.99：1/1
- ②ホームページ管理 行事開催や各委員会、研修会等開催案内、事業報告等を掲載した。HP更新カレンダー12回、HP一般記事91回更新
- ③個人会員制度：令和6年3月末現在 22名

(2) 道岳連行事

- ①登山総合研修会 4/8（土）～9（日）ネイパル砂川 24人
11/4（土）～5（日）ネイパル森 20人
- ②第35回全道交流登山大会 「大雪山国立公園（十勝岳連峰）」において美瑛山岳会、旭川山岳会の主管により開催、136人参加

3. 指導委員会

(1) 安全登山研修会 ネイパル砂川 4/8～9

- ①エベレスト街道トレッキング&カラパタール（5545m）登頂報告
- ②ポロシリ山 山スキー、スノーシュー
- ③スポーツクライミング（美瑛市体育センター）

(2) 登攀研修会 赤岩（小樽）6/25 参加者5名+スタッフ5名

- ①ガイドンス、リードの基本動作、セカンドビレイ（ロック時解除の注意点）
- ②マルチピッチの基本と実践

(3) 沢・登攀研修会 フォレスト鉦山、三重の沢（白老川水系）7/8～9 参加者9名+スタッフ5名

- ①ロープワーク・けんすい下降、沢で必要なクライミング技術

②沢登り実践

(4) コーチ1養成講習会、検定会(独自開催) 8/5~12/17

・手稲区民センター・手稲山周辺(パラダイスヒュッテ)

・田村 潤(くしろ山岳会)、澤野 克也(個人会員)、遠藤 真(札幌山の会)、西岡 庸子(苫小牧山岳会)、武川 智明、戸島 光彦、小川 忠、水江 一(以上登別山岳会)、笠井 憲子(斜里山岳会) 9名が認定を受ける

(5) 指導員更新業務 9/1~9/30 令和6年3月(対象9名)

(6) 安全登山総合研修会 11/4~5 ネイパル森

① デバイスを利用した地形図のつくりかた

② いつでも使うロープワーク復習、要救助者の搬送方法

③ 砂原岳の火山活動の調査と自然保護の学習

④ 指導常任委員会 → 6名 令和6年度事業計画等

(7) 氷壁技術研修会(海外委員会合同)

1/6~7 層雲峡周辺(NAKA滝、尾滝、パラグーフォール、錦糸の滝)

参加者17名+スタッフ5名

(8) 山岳スキー初・中級研修会

1/20~21 神居スキーリンクス、音江山、参加者23名+スタッフ5名

「とことん滑る班」、「じっくり練習班」、「基礎を学ぶ班」の構成として好評を得る。

(9) 山岳スキー(氷雪)技術研修会

2/17~18 三段山→参加者が少なく中止とした

(10) 山岳スキー技術検定会

3/9~10 熊見山ゲレンデ

受験者5名+スタッフ3名

(11) パワフルレディース研修会

2/25 たけのこ山 → 参加者が少なく中止した

(12) スキーツアー

3/31~4/1 ニセコ、羊蹄山

参加者7名、スタッフ3名

(13) 指導員更新業務 3/1~3/31 令和6年9月(対象41名のうち未受講者19名)

4. 普及委員会

(1) 夏山講習会 Part 1 5/28

初心者向け講習会 濃昼山道

夏山装備と地図読みの講習会

参加者 会員12名 スタッフ2名 合計14名

(2) 夏山講習会 Part 2 7/1~2

軽アイゼンで雪渓を安全に登る講習会 石垣山と赤岳

※悪天候の為、中止

(3) 夏山講習会 Part 3 9/9~10

芽室岳(1753.7m)に登る講習会

清水町少年自然の家

参加者 8名 スタッフ 3名

(4) 冬山講習会 Part 1 2/3～4

初級の冬山基本編 羊蹄山

山スキーとスノーシュー 京極山荘宿泊

参加者 会員 20名 スタッフ 6名 合計 26名

(5) 冬山講習会 Part 2 3/16～17

冬山応用編 三段山周辺

吹上温泉宿泊

参加者 一般 1名 会員 10名 スタッフ 4名 合計 15名

5. 自然保護委員会

(1) 自然保護指導員研修・集い開催

美瑛富士避難小屋トイレブース点検及び登山巡視

7/29 (土) ～7/30 (日) 参加者 13名

(2) J M S C A

令和5年度全国自然保護委員長会議及び第47回山岳自然の集い

開催日時 11/23 (木) 12:30～17:30

会場 東京都 JSOSビル 3階会議室

ハイブリット方式(対面とオンライン併用)にて開催、増子委員長がZoomで出席

(3) 自然保護指導員認定・更新業務

当期更新対象者 10名(新規認定1名、更新5名、辞退5名)

6. 遭難対策委員会

(1) 北海道山岳遭難防止対策協議会 4/27 道庁危機管理センター 24名+オンライン

・遭難防止対策に関する取り組みと情報提供(気象、ドローン、罨)

・4年度事業実績報告および5年度事業計画

(2) 春季遭難対策研修 5/27～28 国立青少年の家 参加者 6名

・地図の読み方とコンパスの使い方

・スマホ地図アプリの使い方

・紙地図とスマホで踏査研修

(3) 冬季遭難対策研修 1/20～21 三段山周辺(白銀荘) 参加者 6名 講師 5名

・アバランチトランシーバによる捜索

・ロープの種類と結び方

・ロープワーク 雪の急斜面引上げ

7. ジュニア委員会

・8/11(祝日)山の日記念親子登山会 参加者 17名+スタッフ 5名 で開催

今年は、子供と親が無理なく山の楽しさを感じて貰おうと計画し実行しました。

天気に恵まれ皆さん笑顔でした。

8. 海外登山委員会

氷壁技術研修会（指導委員会合同）1/6～1/7

会場：層雲峡大函覆道周辺の滝

（1/6：尾滝、NAKA滝、パラグーフォール、1/7：錦糸の滝）

参加者 17 名（会員 15 名、個人会員 2 名） スタッフ 5 名

9. 競技委員会

主催大会

(1) 令和 5 年度特別国民体育大会スポーツクライミング競技北海道ブロック予選会

7/22～23 美唄市体育センター

参加者：成年男子 3 名、成年女子 2 名、少年男子 21 名、少年女子 7 名

選手合計 33 名、役員 26 名

(2) 第 22 回スポーツクライミング北海道選手権大会

～学校法人北海道科学大学創立 100 周年記念大会～

兼第 14 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会北海道予選会

兼第 64 回札幌市民スポーツ大会クライミングコンペ

a. リード競技

10/29 日 北海道科学大学

参加者：オープン男子 3 名、オープン女子 1 名、ジュニア男子 17 名

ジュニア女子 7 名、キッズ A 9 名、キッズ B 4 名、ビギナー 6 名

選手合計 47 名、競技役員 26 名

b. ボルダール競技

11/22 日 グラビティリサーチ札幌

参加者：オープン男子 4 名、オープン女子 3 名、ジュニア男子 22 名

ジュニア女子 6 名、キッズ A 13 名、キッズ B 8 名、ビギナー 3 名

選手合計 59 名、競技役員 22 名

道スポ選手強化・派遣業務

(1) 選手強化（道内合宿、日帰練習）

・ 4/29 リード・ボルダール強化練習（美唄市体育センター）

・ 5/6 ユース C/D 強化練習（美唄市体育センター）

・ 8/12 国体強化練習①（美唄市体育センター）

・ 9/3 国体強化練習②（美唄市体育センター）

・ 9/9 国体強化練習③（グラビティリサーチ札幌）

・ 2/23 ボルダール強化練習（グラビティリサーチ札幌）

- ・3/24 ボルダークライミング強化練習 (スポーツクライミングジム十勝)
- (2) 第11回リードユース日本選手権大会派遣兼道外合宿
5/26～29 富山県南砺市 参加者：コーチ2名、選手6名
- (3) 第9回ボルダークユース日本選手権大会派遣兼道外合宿
6/9～12 鳥取県倉吉市 参加者：コーチ2名、選手6名
- (4) 令和5年度特別国民体育大会スポーツクライミング競技大会
10/7～11 鹿児島県南さつま市 参加者：監督4名、選手8名

各種研修会

- (1) 令和5年度第1回競技運営・審判研修会 (公認指導者更新研修)
7/22～23 美唄市体育センター 参加者 (公認指導者)：11名
- (2) 令和5年度第2回競技運営・審判研修会 (公認指導者更新研修)
10/29 北海道科学大学 参加者 (公認指導者)：13名
- (3) 令和5年度第3回競技運営・審判研修会 (公認指導者更新研修)
11/12 グラビティリサーチ札幌 参加者 (公認指導者)：12名

高体連関係

- (1) 第62回北海道高等学校登山選手権大会兼第67回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会
6/20～23 旭岳 上ホロカメットク山～十勝岳縦走
参加者：男子 14チーム 女子 11チーム *1チームは4名
成績：男子 1位 旭川東高校、2位 旭川北高校、3位 札幌北高校
女子 1位 旭川東高校、2位 旭川北高校、3位 札幌北高校
- (2) 令和5年度全国高等学校総合体育大会登山競技大会兼第67回全国高等学校登山選手権大会
8/7～11 上ホロカメットク山～十勝岳縦走
黒岳～北鎮岳～姿見縦走 旭岳
成績：男子 1位 岡山操山(岡山)、2位 修猷館(福岡)、3位 沼津東(静岡)
女子 1位 富士(静岡)、2位 千葉東(千葉)、3位 長田(兵庫)
北海道代表校の成績：男子 旭川東 12位 旭川北 27位
女子 旭川東 12位 旭川北 24位
- (3) 令和5年度北海道高等学校選抜登山選手権大会
9/16～17 芦別岳(新道コース)
参加者：男子 13校 女子 7校
成績：男子 1位 旭川東高校、2位 旭川北高校、3位 小樽潮陵高校

女子 1位 旭川東高校、2位 釧路湖陵高校、3位 北広島高校

第3号議案 令和5年度 収支決算報告

省略

第4号議案 規程改正について

省略

第5号議案 令和6年度に向けて

1. JMSCA 令和6（2024）年度事業計画

(1) 安全登山普及事業

- ① 青少年育成事業（普及委員会）
- ② 登山に関する文化・学術の振興事業（普及、総務委員会）
- ③ 安全登山の啓発事業（普及、遭対、国際委員会）
- ④ 登山指導者育成事業（指導委員会）

(2) スポーツライミング事業

- ① 競技会運営事業（競技委員会）
- ② 国体スポーツライミング競技の主管（国スポ委員会）
- ③ 強化事業（強化委員会）
- ④ 審判、ルートセッター事業（技術委員会）
- ⑤ SCコーチ養成講習会（SC指導委員会）
- ⑥ スポーツライミング医・科学事業（SC医科学委員会）
- ⑦ ドーピング防止事業（アンチドーピング委員会）
- ⑧ 倫理研修会事業（ガバナンス委員会、アンチドーピング委員会）
- ⑨ 国際連盟役員獲得事業

(3) 登山関連競技会運営事業

(4) 登山研究調査事業

- ① 国際交流事業
- ② 登山医・科学支援事業

(5) 自然保護研究調査事業

- ① 研修および研究会
- ② 自然保護の啓発

(6) 共益事業

- ① 広報等：登山月報、HPのタイムリーな更新
- ② 会議等：総会 2024. 6. 23
- ③ 総務等
- ④ 財政等

※ 詳しくは <https://www.jma-sangaku.or.jp/about/data/#keikaku> を参照下さい。

2. 道岳連の運営に関する事項

※令和6年度事業計画は、道岳連HPをご参照下さい。

①加盟団体との接点をどう持つか

- ・退会する団体が続き危機感を持っている現状で三役を中心に加盟団体を廻り実情を把握し道岳連へのさらなる協力をお願いする。
- ・総会・理事会はハイブリット会議（対面+Zoom）として加盟団体への情報発信、収集に努める。
- ・各委員会事業の研修会、全道交流登山会、総合登山研修会などで集う。
- ・個人会員へ山岳会への入会を促すとともに新規個人会員確保に努める。

②財政面についても厳しい状況下にある

- ・行政への働きかけにはそれぞれ加盟団体が登山道整備などを実施しているがマスコミへの接触が進んでいない。
- ・新規事業の発掘に情報提供をいただきたい → クライミング事業
（スポーツの日クライミングきたえーる活動）
（豊平区役所クライミング指導）等を実施している

③道岳連カレンダー製作を継続する反面、費用対効果の検証も行う。

④総会：5月、理事会：第1回 5月、第2回 10月、第3回 4月

- ・事業計画、事業報告等は適時ネットで配信する。

⑥その他

- ・道内山岳団体との協働活動について
定例化した山岳10団体との交流、情報交換を行う。
- ・札幌岳～空沼岳登山道整備実施、美瑛富士避難小屋周辺環境整備実施、裏旭野営指定地環境整備（準備中）について協力体制を進めていく。

3. 各種事業運営について

①全道交流登山会（令和6年度）は十勝山岳連盟の主管で実施する。

②コロナ対策をおこたらず積極的な登山活動の継続をお願いしたい。

③若年層登山者の会員増加を進めたい。

- ・アルパイン的登山りに道岳連内で横断的なチームを造りレベルアップ登山をさらに進める。

④各委員会事業へ加盟団体の協力を一層お願いしたい。

⑤事業内容について今後より良い事業にするための広く意見を聞き前に進みたい。

- ・技術的レベル→指導委員会、競技委員会、遭難対策委員会、海外委員会において推し進める。
- ・一般スポーツクライミング愛好者へは競技委員会中心に大会参加（見学）者を推し進める。「きたえーる」の道岳連管理日を多いに利用して頂きたい。
- ・一般登山愛好者へは遭難対策委員会、普及委員会、山の日事業で積極的に進める。

第6号議案 令和6年度活動方針および事業計画（案）

1. 事務局

(1) 各種会議他

- ・総会：5/19（日） 会場 札幌エルプラザ4階 中会議室
- ・第1回理事会：10/27（日） 会場 札幌エルプラザ4階 中会議室
- ・常任理事会：5/23、7/25、9/26、12/未定、1/23、3/27（原則 隔月第4木曜日）Zoom 併用
- ・加盟団体調査、加盟団体役員名簿、理事名簿、道岳連役員名簿の作成 配布：6月
- ・道岳連広報「道岳連だより」の発行(100号で終了)
- ・ホームページ管理
- ・個人会員制度の継続と新規会員勧誘

(2) 道岳連行事

- ・安全登山総合研修会 4/6～7 日高青少年自然の家（実施済み）
- ・第36回全道交流登山会 8/31～9/1 十勝山岳連盟

(3) JMSCA行事

- ・第60回全日本登山大会新潟大会（9/21～23）

2. 指導委員会

※レベルアップ登山（登攀、沢、アイスクライミング）の周知と実践を推し進める

- (1) 安全登山研修会 日高国立青少年の家 4/6～7（実施済み）
- (2) 登攀研修会 赤岩（小樽） 6/16
- (3) 沢・登攀研修会 白老川 7/6～7
- (4) パワフルレディース研修会 未定 9/中旬
- (5) 指導員更新業務 9/1～9/30 令和7年3月（対象41名）
- (6) 氷壁技術研修会（海外委員会合同） 1/11～12
- (7) 山岳スキー初・中級研修会 1/18～19
- (8) 山岳スキー（冰雪）技術研修会 2/15～16
- (9) 山岳スキー技術検定会 3/1～2
- (10) 山岳スキーツアー 3/15～16
- (11) 指導員更新業務 3/1～3/31（令和7年9月までの対象者）

3. 普及委員会

- (1) 夏山講習会 Part1 アポイ岳 5/25～26
- (2) " Part2 大雪山縦走 7/初
- (3) 冬山講習会 Part1 ニセコ周辺 1/初
- (4) " Part2 旭川周辺 3/中

4. 遭難対策委員会

- (1) 北海道山岳遭難防止対策協議会 4/26 道庁
5年度事業実績報告および6年度事業計画
- (2) 夏季遭難対策研修 7/6～7

※指導委員会：沢研修会と同時開催

- 1) ロープワーク

- 2) 懸垂下降
- 3) 山で倒れている人がいます、あなたができること。
- 4) 沢研修にて実践
- (3) 冬季遭難対策研修 2/15～16
 - ※指導委員会：山岳スキー（氷雪）技術研修会と同時開催
 - 1) 雪崩事故の事例と対策
 - 2) ビーコンによる捜索
 - 3) アイゼン、ピッケル、ロープワーク
 - 4) 低体温症処置と各種搬送技術

5. 自然保護委員会

- (1) 第1回 自然保護指導員研修・集い
 - 6/8（土）～9（日）「風力発電を考える」 塩谷丸山
- (2) 第2回 自然保護指導員研修・集い
 - 8/3（土）～4（日）美瑛富士避難小屋トイレブース点検
- (3) 自然保護指導員認定、更新業務 当期更新対象者 21名
- (4) 日本山岳・スポーツクライミング 自然保護委員会 総会
 - 日程 未定 Zoom 参加？

6. 国際委員会

- (1) 北海道海外登山研究会 4/13（終了）
 - 会場：かでの2・7（北海道立道民活動センター）
- (2) 高所順応トレーニング登山 8月中旬頃予定
 - 場所：検討中
- (3) 氷壁技術研修会（指導委員会合同） 1/11～1/12
 - 会場：層雲峡大函覆道、錦糸の滝周辺

7. 競技委員会

主催大会

- (1) 第78回国民スポーツ大会スポーツクライミング競技北海道ブロック予選会
 - ボルダーク：7/21 グラビティリサーチ札幌
 - リード：7/28 美瑛市体育センター
- (2) 第1回北海道スポーツクライミング大学選手権大会
 - ～学校法人北海道科学大学創立100周年記念大会～
 - 9/15 北海道科学大学
- (3) 第23回スポーツクライミング北海道選手権大会《リード競技》
 - 兼 第15回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会北海道予選会
 - 10/27 美瑛市体育センター
- (4) 第23回スポーツクライミング北海道選手権大会《ボルダーク競技》

兼 第 64 回札幌市民スポーツ大会クライミングコンペ

11/10 グラビティリサーチ札幌

道スポ選手強化・派遣業務

- (1) 選手強化（道内合宿、日帰練習） 随時実施
- (2) 第 78 回国民スポーツ大会派遣
10/11～14 佐賀県多久市（九州クライミングベース SAGA）
（10/11 監督会議、12～14 競技）

各種研修会

- (1) 2024 年度 J M S C A スポーツクライミング部ブロック研修会
3/8～9（J M S C A と調整中） 札幌市（会場未定）
- (2) 日本スポーツ協会公認コーチ 2 養成講習会
未定
- (3) 令和 6 年度競技運営・審判研修会（公認指導者資格更新研修会）
主催大会に合わせて実施
第 1 回： 7/21 グラビティリサーチ札幌
第 2 回： 7/28 美唄市体育センター
第 3 回： 9/15 北海道科学大学
第 4 回： 10/27 美唄市体育センター
第 5 回： 11/10 グラビティリサーチ札幌

高体連関係

- (1) 第 63 回北海道高等学校登山選手権大会兼第 68 回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会
6/25～28 ニセコ連峰縦走（五色温泉～イワオヌプリ～ニトヌプリ～
チセヌプリ～神仙沼）・羊蹄山（真狩コース～比羅夫コース）
- (2) 令和 6 年度全国高等学校総合体育大会登山競技大会兼第 68 回全国高等学校登山選手権大会
8/2～5 福岡県添田町 英彦山山系（英彦山、岳滅鬼山）
- 3 第 15 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
12/21～22 埼玉県加須市

第 7 号議案 令和 6 年度事業予算(案)

省略

第8号議案 備品台帳

1. 事務局

名称	番号	付属品	数量	金額	取得年月日	保管
コピー機	ブラザー MPC-8520DN		1	29,654	H28.6.14	事務局長宅
プロジェクター	エプソン	無線 LAN	1式	56,214	H29.10.20	エルプラザロッカー

2. 指導委員会

管理番号	取得月日	備品名	数量	点検結果	継続/廃棄	保管	備考
HAA-SD-018	H21.1.2	プロジェクター (EPSON)	1	良好	継続	きたえーる	
HAA-SD-027	H25.8.30	電動ウインチ	1	良好	継続	指導委員長宅	
HAA-SD-027	H25.8.30	錘落下装置	1	良好	継続	〃	
HAA-SD-028		岳連旗	1	良好	廃棄	〃	劣化

3. 競技委員会

名称	番号	付属品	購入先	数量	金額	取得年月日	耐用年数	連絡先	保管場所
スポーツタイマー	HAA-KY-01	電源コード	うめやスポーツ	1	34,500	H28.5.23	15	090-1309-2241	美唄市体育センター
スポーツタイマー	HAA-KY-02			1	34,500	H28.5.23			
ビデオカメラ	HAA-KY-03	電源コード 三脚	ケーズデンキ	1	36,000	R4.6.25		090-1640-3393	競技委員会 長井洋子宅
ビデオカメラ	HAA-KY-04			1	36,000	R4.6.25			

第9号議案 入会、退会申請

新加盟：南知床山岳会

退会：函館山岳会、函館マウンテンクラブ、北見山岳会、美瑛山岳会

第10号議案 役員改選

令和6年度は役員改選時期であることから、加盟山岳会(連盟)に対して三役の推薦等をお願いし、常任理事会および三役会において検討を重ねて参りました。

この結果、常任理事会として下記の方々を推薦致します。

会長 石井 昭彦 (再任)

副会長 澤田 時人 (新任)

副会長 田中 清子 (新任)

監事 益田 敏彦 (再任)

監 事 明田 通世 (新任)

第 11 号議案 各種議題、その他

全道交流登山会 (8/31~9/1) 十勝大会 主管 十勝山岳連盟

以上